

<対策のポイント>

持続的生産に向けた産地の課題解決のため、ロボット・AI・IoT等の先端技術を組み入れた新たな営農技術体系を検討する取組等を支援します。

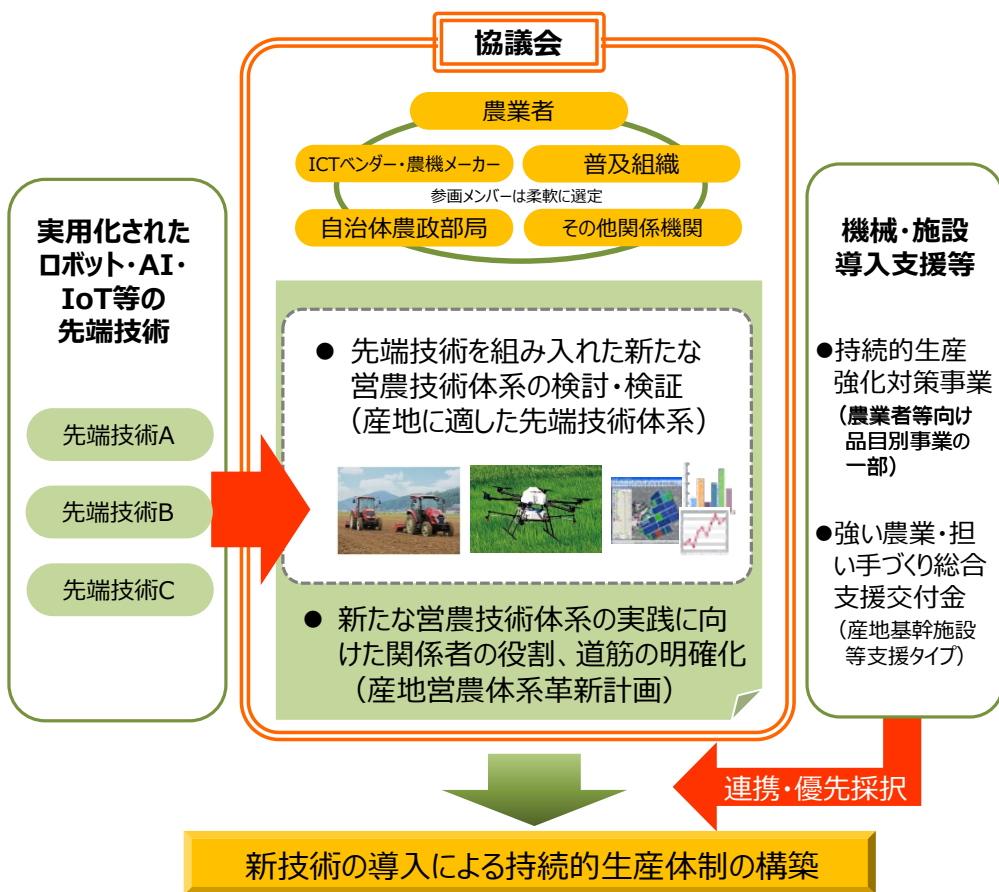
<政策目標>

農業の担い手のほぼ全てがデータを活用した農業を実践 [平成37年まで]

<事業の内容>

<事業イメージ>

- 担い手の高齢化・労働力不足等の産地が抱える課題の解決のため、担い手、ICTベンダー・農機メーカー、地方自治体、普及組織等の地域の関係者が参画し、
 - ① 実用化段階にあるロボット・AI・IoT等の先端技術を産地の営農技術体系に組み込み、省力化や高品質化を実現し得る産地としての新たな営農技術体系を検討・検証するとともに、
 - ② その実践に向けた道筋を明確化する取組を支援します。
- また、課題解決に向けた新たな営農技術体系への転換の道筋を明確化させた産地について、品目別事業や機械・施設の導入支援事業との連携・優先採択により、新たな営農技術体系の実践に必要な産地全体の環境整備等を支援します。



<事業の流れ>

